

第3回 西小倉地域小中一貫校開校準備委員会 会議録

日 時 令和6年10月16日（水） 19時00分

場 所 宇治市立西小倉小学校 ランチルーム

会 議 日 程

1. 開会 2. 第2回 委員会意見の振り返り 3. カリキュラム・ポリシーについて 4. 専門
部会の設置について 5. 報告事項 ・校名公募の状況について ・子どもまん中委員会
について ・ワーキンググループ（学校内）について 6. 閉会

開 会 （19時00分）

1. 開会

杉本委員長が開会挨拶をした。

2. 第2回 委員会意見の振り返り

杉本委員長が、第2回 委員会意見の振り返りについて説明した。

3. カリキュラム・ポリシーについて

杉本委員長が、「未来に誇れる『公立学校』のための
カリキュラム・ポリシー」と題して、文部科学省が学校改革として進める小中一貫校お
よび学習指導要領のねらいと、OECDの学びの羅針盤を解説した上で、それを実現す
るための施設一体型小中一貫校開校に向けたカリキュラム・ポリシー（素案）の検討に
ついて説明した。

4. 専門部会の設置について

杉本委員長が、専門部会の設置について説明した。《専門部会ごとの打合せ（30分）
》

《専門部会ごとの報告》

〔制服部会〕

米村委員（部会長）、田端委員（副部会長）、杉本委員長、齋藤委員、安田委員、山口委
員、瀬野（事務局）

- ・制服が必要か必要でないかというところから意見交換を行った。
- ・西小倉中学校の「セル服ウイーク」の取組の話を聞き、生徒が自分たちで制服で登校するか私服で登校するかを決められる期間があることを知った。
- ・制服の方が経済的ではないかという意見もあったが、統計的には成長するにつれて買い替える時には制服の方が費用が高くなり、必ずしも制服の方が経済的とは言えないのではないか。
- ・私服の方が自由でいいし、TPOを考えて自分で服を選ぶことはリスクマネジメントの力をつけていくといった教育的視点もあるのではないかな。
- ・「セル服ウイーク」の取組の後の生徒へのアンケートでは、制服が一定必要といった意見が多くあり、教師の指導の観点からも制服は必要なのではないかな。
- ・今回の話の中で制服が必要か必要でないかの結論が出たわけではないが、小中一貫校で制服を例えば1年生から着るとなった時には、経済面にも配慮し、学校の中で制服をリサイクルできる仕組みを模索する必要もあるのではないかな。

〔校歌・校章部会〕

竹田委員（部会長）、小川委員（副部会長）、手塚委員、太壽堂委員、小林委員、中嶋委員、坂上（事務局）、松田委員〔欠席〕

- ・校章と校歌が、できればパンフレットを作成する令和7年6月頃までには決められるといい。
- ・校歌や校章を決めるにあたっては、様々な方法があるが、公募がいいのではないかな。
- ・公募をするにしても、宇治市全体で公募するより西小倉の地域を中心にしてはどうか。
- ・子どもからキーワードを募集し、校歌に入れてはどうか。
- ・校章は公募でアイデアを募って1つに絞っていったらどうか。

〔子ども見守り部会〕

門脇委員（部会長）、栗下委員（副部会長）、市橋委員、日野副委員長、田中委員、松村委員、西村委員、石川委員、荻野委員、島田（事務局）

- ・子どもの登下校時の見守りをどのようにしていくかということを中心に、日頃感じている不安や疑問を出しながら話を進めた。
- ・見守りが今後どうなっていくのか不安であり危機感がある。
- ・北小倉からは通学距離が長いけど、どのルートを通れば安全に通学できるのか。
- ・最近では共働きの家庭が多く、一方で見守り隊の方の高齢化が進んでいるという課題もあり、仕事をしているから見守りは誰かに任せるといった時代ではないので、みんなでどうしていくかを考えていけるようにしたい。

5. 報告事項（報告事項） ・校名公募の状況について ・子どもまん中委員会について
・ワーキンググループ（学校内）について

《質疑・応答》

委員：次回の開校準備委員会の日程だけでも決めておいてはどうか。

市教委：年内には次回の開校準備委員会を開催できるようには考えていきたいが、事前に行う調整会議のこともあるので時期は決められない。専門部会を必要に応じて開催できるように連絡手段の共有を行っていただきたい。

6. 閉会

杉本委員長が閉会のあいさつをした。

閉 会 （21時00分）